

# 議会だより

No 159

平成31年  
4月30日発行



中野幼稚園入園式

## 平成31年3月定例会

平成31年度 予算可決(一般会計・各特別会計)

### 一般質問 5人の議員が町の考えを問う

- ・大賀孝訓議員
- ・大野貞夫議員
- ・松島茂喜議員
- ・原 義裕議員
- ・黒田重利議員

可決された議案等……………	3～5
予算質疑……………	5
一般質問……………	6～10
わたしのふるさと等……………	11～12

### 動画による録画映像配信中

ホームページからアクセスできますので  
ご覧ください



# 平成31年度一般会計予算

80億7,800万円の予算を可決  
対前年度比3.2%減

3月定例会

平成31年第1回定例会が、3月5日から15日まで開かれました。平成31年度の一般会計予算や各特別会計予算、条例改正、発議等の議案が提出され慎重に審議されました。



中央公民館から「教育と文化のまち邑楽」を発信

平成31年度予算の予算規模は、一般会計で80億7800万円、前年度に比べ2億6500万円、3・2%の減額といたしました。

歳入での町税収入見込額は、町民税や固定資産税などの増収が見込まれることから、前年度比7286万4000円増の35億3587万円としました。

地方交付税は、前年度を下回る9億7000万円を見込みました。繰入金については、財政調整基金、減債基金、公共施設等整備基金及びふるさと振興基金などから合わせて5億1800万1000円計上いたしました。前年度比4億3969万9000円の減です。町税、国庫支出金などが増加していますが、地方交付税及び地方譲与税などが減少する中で、財源確保の観点から、前年度に引き続き財政調整基金繰入金を計上しました。

町債は、今後の財政負担を極力抑えながらも積極的

な投資を行うため、6億3280万円（9・8%増）ですが、その内の6割近くは臨時財政対策債が占めています。

歳出の大きく増額されたものとして、低所得者向けプレミアム商品券事業に2696万8000円、子育て世帯向けプレミアム商品券事業374万6000円、後期高齢者対策事業に2億1034万3000円、保険

基金安定制度操出金に1億5115万6000円、邑楽館林医療事務組合負担金に1億1558万4000円、鶉土地区画整理事業に2億5590万円、町道整備国庫補助事業に2億325万円を計上しました。

公債費では、長期債元金に6億9464万3000円、長期債利子に3870万円計上しました。

景気動向は民需を中心に徐々に回復の動きが広がっているといわれておりますが、まだまだ景気回復を実感することは難しい状況で

あります。国の国債依存度は限界を超えたといわれている状況において、地方への財政措置がこれまでのように確保される保証はないといわざるを得ません。

今後も人口減少に歯止めを掛けるとともに、少子高齢化社会を乗り切るために行政サービスの取捨選択を図る論議を進めて行かなければならないことも事実であります。

予算の執行にあたり、事務事業の見直しや合理化をより一層推進するとともに、事務執行にあたる職員の資質の向上を図ってまいります。そして、町民の皆さまとともに、大いに意見交換を行いながら、新たな時代に即応した行政のあり方を模索しつつ、行政の執行にあたってまいる所存であります。

町民の皆さまと議員各位の一層のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。

(町長の施政方針抜粋)

## 可決された議案

### 〔条例の改正・規約変更の協議〕

#### 群馬県市町村総合事務組合の規約変更の協議

富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合及び多野藤岡広域市町村圏振興整備組合が、平成31年4月1日から消防団員または消防吏員に係る賞じゅつ金支給事務の共同処理に加わるため、組合規約変更の協議をいたしました。

#### 職員勤務時間、休暇等に関する条例の改正

人事院規則の改正に準じて、条例を改正しました。

#### 邑楽町行政財産使用料条例の改正

邑楽町財務規則の廃止に伴い、条例の一部を改正しました。

#### 邑楽町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する

る基準を定める条例の改正  
邑楽町一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格を定める条例の改正

学校教育法の一部を改正する法律が成立したことから、条例の一部を改正しました。

#### 邑楽町小口資金融資促進条例の改正

群馬県小口資金融資促進制度要綱の一部改正が行われたことに伴い、条例を改正しました。







平成30年度補正予算額 (3月)

会 計 別	予 算 現 額	補 正 額	予 算 総 額
一 般 会 計	87億5,278万円	9,306万円	88億4,584万円
国民健康保険特別会計	34億6,272万円	△1億5,377万円	33億0,895万円
後期高齢者医療特別会計	2億8,561万円	1,248万円	2億9,809万円
介護保険特別会計	20億3,454万円	5,881万円	20億9,335万円
下水道事業特別会計	2億8,289万円	△1,486万円	2億6,803万円
学校給食事業特別会計	2億3,310万円	62万円	2億3,372万円

平成31年度当初予算額

会 計 別	本年度予算額	前年度予算額	対前年増減率
一 般 会 計	80億7,800万円	83億4,300万円	3.2%減
国民健康保険特別会計	31億7,074万円	32億7,935万円	3.3%減
後期高齢者医療特別会計	2億9,832万円	2億8,236万円	5.7%増
介護保険特別会計	20億0,248万円	19億4,777万円	2.8%増
下水道事業特別会計	2億8,753万円	2億8,153万円	2.1%増
学校給食事業特別会計	2億3,096万円	2億3,778万円	2.9%減



**Q松島茂喜議員** 各課で設置している自動販売機の設置条件を一元化できないのか。  
**A総務課長** 現在7課、31カ所に設置してある。電気価格等設置内容などを調査し、一元化について検討していく。

**新年度予算質疑(要旨)**  
新年度予算についての質疑が行われました。以下は、抽出した項目の要旨です。

**Q大野貞夫議員** 子育て支援を臨時の保育士に頼っている現状は、保育行政の低下につながるのではないかと。また、新たに応募のあった臨時の保育士と2名の正規の保育士を採用し、保育行政の低下につながらないように指導していく。

**A町長** 新たに応募のあった臨時の保育士と2名の正規の保育士を採用し、保育行政の低下につながらないように指導していく。

**Q神谷長平議員** 臨時保育士の派遣業務委託料が上がってきている現状があるが、今後の見通しは。

**A町長** 各園の定員枠を超えてきても現状では園児の措置が可能である。定員枠は緩和されたが、基準を守っていかねばならない。

**Q原 義裕議員** クビアカツヤカミキリによる桜の木の被害対策について、どのように考えているのか。

**A安全安心課長** 特定外来生物等対策事業として、邑楽館林地域クビアカツヤカミキリ対策協議会が設置されており、負担金90万円を納めて対策を検討する。

**Q松村 潤議員** 災害対策の備蓄物品に乳幼児用液体ミルクを加えてほしい。昨年8月に国の基準が定められ、常温で半年の保存が可能である。

**A町長** 災害対策として研究していくが、保存期間と開封時の使い方に問題があると感じている。

**Q大賀孝訓議員** 中央公民館の芸術文化活動費が少ないが、今後の育成への取り組みは。

**A町長** 担当課長と十分検討し対応する。







大賀 孝訓  
議員

## 財政再建と自主財源の確保について

**問** 新年度予算が提示されたが、やっと80億円をキープしたという減額予算であった。予算減について非常に危惧している。町の自主財源の確保は一番に考えなければならぬ。工業団地の誘致など進捗状況はどうなっているのか。

**答** 町長 現在も県と協議をして進めているが、立地を計画している地域の排水の問題があり、大変苦慮している。現状では、このような状況である。

される中、どのような考えを持っているのか。

**答** 町長 事業の精査をした上で、国・県の補助金の要件を調べ、取り組んでいく。

**問** 今、非常に危惧しているのは、国民健康保険など特別会計への繰出金の多さである。財政の削減項目を明確にし、具体的な策として提示してほしい。来年度から、地方公務員法が改正されるが、町の臨時職員の実態はどうなっているのか。

**答** 総務課長 臨時職員については、勤務形態が月給の職員103名と時間給の職員133名、合計236名がいる。

**問** 地方公務員法が改正されると莫大な財政負担が予想される。臨時職員の給与システムを今後どのようにするのか。

**答** 総務課長 新しい制度についても現在の勤務体系や、賃金を基本に構築していきたい。現在のシステムを基準に新しい内容を詰めた。

**問** 地方公務員法の改正による賃金体系の見直しについての財源措置はどうなるのか。

**答** 総務課長 臨時職員の利用システムに伴う国からの補助金は、現時点ではないと認識している。通常の予算から捻出するしかない。

**問** 幼児教育の無償化に伴う国からの予算措置については、どのような現状か。

**答** 子ども支援課長 平成31年10月より実施予定である。3才から5才までは利用料を無償化、0才から2才までは、住民税非課税世帯が無償化となる。国は平成31年度、全額国費で対応する。

**問** 平成32年度以降の補助金はどうか。

**答** 子ども支援課長 明確に示されていないが、平成32年度以降については地方交付税の算入というような方向になるかも知れない。

**問** 平成32年度以降の財源措置が非常に不確定になつてくる。二重の財源措置が非常に重くのしかかる。どのような措置を考えているのか。

**答** 町長 それぞれの事業について問題がないような事務執行をしていく。将来的な事業については、積み立てや基金として残すなどの考え方が必要である。

将来的には積み立てや基金を考えていく



役場の執務室の様子

# 一般質問



大野 貞夫  
議員

## 交通弱者に対する 町の交通対策について

**問** 邑楽町における交通手段及び交通体系の現況については。

**答 企画課長** 鉄道については、町の中央部を東武小泉線が通り、本中野駅及び篠塚駅がある。バスについては、町単独で運行委託している邑楽―太田線他に館林市―邑楽町―千代田町を結ぶ路線がある。また、高速バスも運行している。

**問** 次に町内の高齢者の年齢構成について。

**答 住民課長** 前期高齢者数は4728人、後期高齢者数は3282人である。

**問** この高齢者の中で、ひとり暮らしの人数は何か。

人が。

**答 健康福祉課長** 今年度6月1日現在、70歳以上が537人になっている。

**問** 身体障がい者の人数は。

**答 健康福祉課長** 一級の方が327人、二級の方が117人である。

**問** 今、県では、高齢者の自動車運転免許証の自主返納が取り組まれている。町内の返納者数は。

**答 安全安心課長** 町内の自動車運転免許証保有者の内、65歳以上が6074人。返納者は74人、内73人が65歳以上の人である。

**問** 自主返納した後の、フォロー施策は。

**答 安全安心課長** 現状では、支援策はない状態である。

**問** 県内では、35自治体内、26市町村が何らかの対策を講じている。郡内の状況をみても、大泉町では、広域公共バスの回数券、高齢者デマンド交通の利用回数券、タクシー利用券を支給。千代田町では、自家用ハンドル形電動車いす、電動アシスト三輪自転車などの購入費の補助。明和町では、免許返納タクシー券の贈呈。板倉町では、福祉タクシー利用券の贈呈。館林市では、免許返納タクシー券の贈呈など、何らかの

形で自主返納者に対して行っている。邑楽町は、何もやっていない。具体的に、まず取り組む必要があると思うが。

**答 町長** 各々の報告をいただいたが、その中身については承知していない。町として制度を作った場合、果たして利用が十分されていくのか、慎重な調査も必要と思う。今、町民の皆さんが自主的に邑助けネットワークとして、地域のこと自分たちで何とかしていこうという意識の醸成も大切だと思う。

**問** 26市町村が色々な形でやっている。よく調べしてほしい。高齢者の多くの人達が、実は不安を抱えながら車を運転して、生活を維持しているのではないかと、制度が出来ることによって、自主返納につながっていくと思うが。

高齢化の問題を  
真剣に考える

**答 町長** 高齢化率も30%になろうとしている。それに伴って課題も出てくる。現状を十分認識した中で、少子化、高齢化の問題を町行政も真剣に考えていきたい。



車がなくても安心して暮らせる町に





松島 茂喜  
議員

稼げる農業について

**問** 前回、若い担い手の人材育成に投資をするべきだと質問した。町長は、その方々と話し合いをする機会を持ったと思うが、どんなテーマで行ったのか。

**答** 町長 青年農業者が、どんな課題や問題を抱えているのか伺うため、昨年1月に意見交換会を行った。その中で、機械の拡充のための助成や、加工米や飼料米への補助金、農地の集積・集約について要望があった。

**問** 一方的に相手の話を聞くだけでは、意見交換会にならない。それは意見聴取会である。その後も開催をしたのか。

**答** 農業振興課長 開催していない。

**問** 開催しない理由は何か。

**答** 町長 20数名の新規就農者や青年農業者が組織づくりをしている。そこで十分議論された要望を具体的に示していただきたい。今後開催することは、やさかではない。

**問** 町として、どのような課題を投げ掛けたのか。

**答** 町長 特に私の方からは、持って行かなかった。1年以上、何ら進展がないのは、行政側が真剣に農業のことを考えていないからである。人材育成

に力を入れていただきたいが、新年度予算にもそれにかかわる事業がない。向こう1年間、それに投資する考えはないのか。

**答** 町長 それについては、人・農地プランの中で十分検討していただくものである。

**問** その検討会は、いつ開催したのか。

**答** 町長 その検討会は、いつ開催したのか。2月下旬に開催した。

**問** そこで、人材育成について議論され、具体的な提言があったのか。

**答** 農業振興課長 農業者の高齢化、減少が進んでおり、このままでは担いきれない農地が出てくる。

その農地をどう託していくかという内容であった。人材育成という面では少なかったと思う。

**問** それでは、問題をどう解決していくのかというところまでの話である。

その後、どんな政策を打つか町長にかかっている。残念ながら、進展がないようだが、どうなのか。

**答** 町長 認定農業者が119名、10の法人ができました。以前より、大きく農業振興政策は進んでいると思う。

**問** 農業者の努力によって発展した部分はあるが、行政側のアクションによって町の農業が底上げされたということではないか。町長は、トップセールスとして最初だけアンテナショップや築地市場に行かれたが、その後は実績がない。今後もしないのか。

**答** 町長 大変不足した点があるということだが、実施していきたい。

**その他の一般質問**  
・平成31年度施政方針について

平成30年度群馬県6次産業化サポートセンター運営事業(人材育成研修会)(群馬県委託)

定員50名(先着締切) 参加費無料

ぐんま6次産業化チャレンジ塾 2018

「稼げる1人1農」の夢を実現するために、私たちが6次産業化に取り組んでいます!

群馬県商工会連合会 2階大研修室 群馬県商工会連合会306-1

群馬県 群馬県6次産業化サポートセンター

お申し込み・お問い合わせは 群馬県6次産業化サポートセンター (群馬県商工会連合会306-1) 2階大研修室 TEL:027-231-9779 FAX:027-234-3378



# 一般質問



原 義裕  
議員

## 観光資源の 開発と推進について

**問** 町に魅力があれば来町者も増え、物産品の販売や飲食店にぎわいが出てくる。観光資源の開発と推進を願いたい。

**答** **総務課長** 町は、白鳥が飛来するガバ沼とシンボルタワーを観光の核としている。

**問** ふるさと納税の過去3年間の歳入予算額と確定額を教えてください。

**答** **総務課長** 平成27年度は当初予算額が10万円で実績は67万5000円。平成28年度は当初予算額が30万円で実績は74万7000円。平成29年度も当初予算額が30万円で実績は87万円。平成30年度は当初予算額が300万円で2月時点

の実績で143万円である。

**問** 邑楽町第六次総合計画の目的に、地域資源を生かした体験型観光やイベントなどが開催される町とある。この3年間のローリング評価が聞きたい。

**答** **商工振興課長** おうら中央公園周辺を観光地域とし、多目的広場でハチロクミーティングや軽トラ朝市などを行ってきた。観光資源が乏しいが、積極的に発掘して付加価値を付けていきたい。

**問** 体験型観光を目標に挙げていますが、進捗状況が聞きたい。

**答** **商工振興課長** 平成27年度からJ A邑楽館林

主催でグリーン・ツーリズムのモニターツアーを行っている。

**問** 町にある遺跡や神社仏閣などの観光資源が活用されていないが。

**答** **町長** 1月と4月に「七福神めぐり」が行われ、参加者からも喜ばれている。

**問** 町に日本一の埋没河畔砂丘がある。学術的にも非常に貴重で、観光資源として最たるものだ。保護保存をどのようにしていくのか。

**答** **生涯学習課長** 旧利根川の河畔に発達した内陸砂丘で歴史的にも貴重で価値がある。文化庁からも

現地調査があり、文化財として登録が進むと大きな前進である。

**問** 町指定重要文化財の慶徳寺山門や長柄神社の壁面彫刻、バテレン橋など観光の目玉になるところがいっぱいある。町の発展と活性化を考えて発想の転換を願いたい。

**答** **町長** 文化庁との協議や地権者との理解が必ずや要。十分調査し考える。

**問** 役場前の池に白鳥が来なくなり、邑楽町をPRする冊子やパンフレットが使えなくなるが、その対策は。

**答** **都市建設課長** 冬になると複数の白鳥が羽を休め、シンボルタワーを旋回しながら多々良沼へ飛んでいく姿があったが、現在は見られない。しかし、多々良沼やガバ沼には毎年白鳥が飛来している。引き続き使用していく。

**問** 住みたい町、住んでよかった町、それが絆で「やさしさと活気の調和した夢あふれるまち」に続くと思うが。

**答** **町長** 観光資源については積極的に取り組む

では、以前にも増して積極的に取り組んでいく。



町指定重要文化財の慶徳寺山門





黒田 重利  
議員

## 中学校の統合について

**問** 平成25年度、教育委員会が行った中学校の編成、統合に関するアンケートの内容は。

**答** 学校教育課長 邑楽中学校と邑楽南中学校で生徒数の差が大きいこと、部活動の数に不公平が生じていること、生徒数の減少が見込まれることから複数の選択肢で答えていただく形で実施した。対象者は、町内小中学校保護者2278人、小学校高学年と中学生全員で1301人である。

**問** 当時、小中学生の関心が高かった。これは回答率から見てわかる。今の小学生は、アンケートが実施されたことすら知らない。大事なアンケートを1度だ

けで、なぜ継続して実施しなかったのか。

**答** 学校教育課長 続けてアンケートを実施する必要がないと判断したためだと思う。

**問** せめて3年に1度アンケートを実施していれば、より近況な意見が聞けたのではないか。実施する予定はあるのか。

**答** 教育課長 今のところアンケートをとる予定はない。

**問** 6年後になると、小学生は274人、中学生は100人減ってしまう。今後、児童生徒数が増える見込みはあるのか。

**答** 学校教育課長 増加する見込みは少ない。

**問** 統合が必要になるとしたらいつごろか。

**答** 町長 今の段階で明言することはできないが、いずれはそういった時期も来るだろうと認識している。

**問** 統合されて廃校になったら活用するのか。例えばNPO法人の事務所や、生涯学習の場などに最適だと思うが。

**答** 町長 学校の校舎でもあり、どのような利用がベストなのかということも当然考えていかなければならない。十分時間をかけて、いろんな意見を聞

きながら進めていくことが必要である。

**問** 中学校の統合について、教育長はどのように思っているのか。

**答** 教育長 6年後ぐらいになると、一緒にしても中学校の生徒数が600人を切る勢いで、クラスに直すと1学年6クラスから5クラスになる。子どもたちの人数減少に伴って、将来的には考えなくてはいい。

**問** 中学校の統合について町長の考えは。

**答** 町長 安心して勉学できる環境を人間形成ができる環境を

**答** 町長 今後における中学校の統合というところは、大変関心のあるところである。これについては皆さんの気持ちをくみ取り、教育委員会とも十分話し合いをしていきたい。児童生徒が安心して勉学に励み、

立派な人間形成ができるような環境をつくっていくことが大事である。今後もこれについては十分考えた上で、方向性を決めていきたい。



中学校の校舎





## 休憩室 The Lounge

### 私の読み聞かせ



須藤 紗織  
(水立大黒・23区)

私が長柄小学校で読み聞かせを始めて、四年目になりました。きっかけは、下の子どもが小学校入学でした。最近では、すっかり「読み聞かせのおばちゃん」と覚えてもらっています。

月一回、朝の二十分間。短い時間ですが、本選には、たくさんの方がかかります。いつも二、三冊読みますが、子ども達の反応は十人十色なので、顔色をうかがいヒヤヒヤしています。

私の場合、まず、クイズの時間。子ども達に問いかけ、興味を持ってもらえるように努めます。そして、二冊目に、季節や学習内容に合った本を選ぶようにしています。すると、子ども達も落ち着き、よく聞いてくれるように思います。そうすればラッキーです。

私が読んだ本が印象に残り、もう一度読みたいと一人でも読書が好きになってくれれば、おばちゃんは嬉しいです。

### 議会のうごき

#### 2月

- 6日 全員協議会
- 8日 群馬東部水道企業団議会定例会
- 15日 邑楽郡町村議会議長会議員研修会
- 19日 群馬県町村議会議長会定期総会
- 20日 議会運営委員会
- 21日 総務教育常任委員会  
産業福祉常任委員会
- 22日 全員協議会

#### 3月

- 5日～15日  
第1回定例会  
(本会議、議会運営委員会、  
各常任委員会、全員協議会、広報委員会)
- 13日 中学校卒業式
- 20日 幼稚園修了式
- 22日 小学校卒業式  
大泉町外二町環境衛生施設組合議会定例会  
町立保育園・こども園卒園式
- 23日 太田市外三町広域清掃組合議会定例会
- 25日 邑楽郡町村議会議長会定期総会
- 26日 邑楽館林医療事務組合議会定例会
- 27日 館林地区消防組合議会定例会

#### 4月

- 2日 広報委員会編集会議
- 8日 小・中学校入学式

### 議会だよりの表紙の写真募集

邑楽町議会では、議会だよりの表紙に掲載する写真を募集しています。邑楽町に在住・在勤であればどなたでも応募できます。皆さまの応募をお待ちしています。

## 議会を傍聴しましょう

次回の定例会は

**6月17日から21日**を  
予定しています

(開会は原則、午前10時 一般質問は18日、19日を予定)

住所・名前・年齢を受付票に書くだけでどなたでも傍聴できます。役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録は、図書館、中央公民館、長柄公民館、ヤングプラザに置いてあります。また、ホームページでも会議録全文や本会議の様子を動画配信により見ることができますので、ご覧ください。

URL <https://www.town.ora.gunma.jp/li/070/index.html>

詳しくは、議会事務局まで 47-5000



# 熊本県人吉市

ひとよし

## 熊

本県の最南端に位置する人吉市は、相良

藩700年の歴史を今に伝える九州の小京都と呼ばれていて、周囲を険しい山々に囲まれた盆地に佇む城下町です。

市の中心部を日本三大急流の一つ「球磨川」が流れ、舟下りで四季折々の景色と、急流のスリルを満喫することが出来ます。温泉地としても知られ、市内には老舗の旅館をはじめ、20軒

以上の温泉施設が点在し、湯治や観光と共に、家庭風呂として多くの市民に愛用されています。私も帰省の際には毎日、温泉を堪能しています。米を原料とした

米焼酎のメツカは、人吉市を中心とする球磨地方と言われており、28軒の酒造会社で球磨焼酎が製造され、焼酎好きでも閉口しそうな40度の強く濃い物もあります。

平成20年に国宝に指定された「青井阿蘇神社」は約400年の歴史があり、急勾配のかやぶき屋根や雲竜の彫刻など必見の価値あり



鶴永 喜一  
(前原・4区)

です。少し足を延ばすと♪おどま盆ぎり盆ぎり♪の子守唄で名高い「五木村」があり、往時を偲ぶことが出来ます。お人よしの住む人吉は「ほんに良かとこばい、いっぺん遊びにこんね」。故郷を離れて約50年「ふるさと」は遠きにありて思ふもの」想いは同じです。

議会議報  
No.159



球磨川くんだり

## 編集後記

中学校の卒業式に参加させていただきました。卒業生をはじめ保護者や先生方には、厳肅な会場で歌われた「蛍の光」が、悲喜こもももの3年間の出来事を思い出させ、目頭を熱くしたように見えました。

そして、卒業生と在校生には「わが師の恩」の言葉で、お互いに感謝の気持ち共有されたように感じられました。

大きな節目には、人をそのように思わせる何かがあるのかも知れませんが、

平成も終わります。また、議会も新しい区切りに入ります。

互いの議員が「町のために」を共有し、頑張っていたらと思います。

読者の皆さまにも、議会を傍聴していただき、忌憚のないご意見とご提案をいただけたら幸いです。

(坂井記)

長い間、お世話になりました。

議会広報委員会



瀬山 半田 大賀 坂井 塩井 黒田